

宇都宮市立海道小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
話し合いを活用して課題を解決していく授業づくり	各教科の授業(特に算数)の中に学び合い、話し合い活動の場を意図的に設けて対話的な学習を推進する。	「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の質問に肯定的に回答した児童の割合は4つの学年が市の割合を上回った。また、「自分の考えを理由をあげて話せる」の質問への肯定的な回答をした児童の割合は、半分の学年が市の割合を上回った。
自己有用感の形成	学級懇談や学年便りで児童のよさを認め、自己有用感を高めることが学力向上にも有効であることを呼びかける。	「自分にはよいところがあると思うか」に低学年の児童は100%の回答をしたが、中学年以上の学年は市の肯定的な回答の割合を下回った。「家の人は自分のよいところや頑張ったことを認めてくれる」に市の肯定的な回答の割合を上回った学年は半数以上あった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方角性

- ・ほとんどの学年で「授業でグループの話し合いに進んで参加している」に肯定的に回答した児童の割合が昨年度と同調査の結果を上回った。今後は学級活動や算数以外の教科でも話し合いを意図的に取り入れ、学び合いの中で課題を解決していく学習を積極的に進めていく。
- ・自己有用感に関する結果は中学年以上の児童が市の肯定的な回答より下回ったが、今年度の「とちぎっ子学習状況調査」の同様な質問に低い数値を示した学年は90%以上の肯定的な回答をした。また、「先生はよいところ頑張ったことを認めてくれる」に高い肯定的な回答をしているので、今後も継続して家庭と連携し児童の自己有用感を高めていく。